

【表紙】

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 近畿財務局長 |
| 【提出日】 | 平成23年8月11日 |
| 【四半期会計期間】 | 第73期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社トーアミ |
| 【英訳名】 | TOAMI CORPORATION |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 北川 芳徳 |
| 【本店の所在の場所】 | 大阪府四條畷市中野新町10番20号 |
| 【電話番号】 | (072) 876 - 1121 (代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部経理部長 吉川 保 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 大阪府四條畷市中野新町10番20号 |
| 【電話番号】 | (072) 876 - 1121 (代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部経理部長 吉川 保 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社大阪証券取引所 (大阪府中央区北浜一丁目8番16号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第72期 第1四半期連結 累計期間 | 第73期 第1四半期連結 累計期間 | 第72期 |
|---|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年4月1日 至平成22年6月30日 | 自平成23年4月1日 至平成23年6月30日 | 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日 |
| 売上高(千円) | 3,205,096 | 3,164,239 | 13,104,242 |
| 経常利益又は経常損失() (千円) | 24,443 | 123,065 | 507,246 |
| 四半期純利益又は四半期(当期)純損失() (千円) | 94,607 | 125,094 | 2,865,981 |
| 四半期包括利益又は包括利益(千円) | 149,407 | 114,574 | 2,893,327 |
| 純資産額(千円) | 12,352,500 | 9,582,438 | 9,513,998 |
| 総資産額(千円) | 17,603,772 | 14,854,449 | 14,768,297 |
| 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期(当期)純損失金額() (円) | 15.05 | 20.34 | 458.60 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 70.2 | 64.5 | 64.4 |

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」という。)は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第72期第1四半期連結累計期間及び第72期は1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、第73期第1四半期連結累計期間は潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第72期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災による生産活動の停滞、物流網の寸断等により大きな打撃を受けることとなりました。また、原発事故による電力供給不足が経済活動全般に影響し、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループの主な事業分野である建設・土木業界におきましては、需要が回復基調には至らず、震災による混乱により総じて低調に推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は31億64百万円（前年同四半期比1.3%減）となりましたが、原価低減・コスト削減等の収益基盤の強化に取り組んだ結果、営業利益は63百万円（前年同四半期は営業損失56百万円）、経常利益は1億23百万円（前年同四半期は経常損失24百万円）、四半期純利益は1億25百万円（前年同四半期は四半期純損失94百万円）となり、第1四半期連結累計期間においては減収増益の結果となりました。

（2）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（3）研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、3百万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 22,000,000 |
| 計 | 22,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成23年8月11日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|--|
| 普通株式 | 6,400,000 | 6,400,000 | 大阪証券取引所 (市場第二部) | 完全議決権株式 であり、権利内容 に何ら限定のない 当社における 標準となる株式 であり、単元株式 数は100株であ ります。 |
| 計 | 6,400,000 | 6,400,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|--------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成23年4月1日～ 平成23年6月30日 | - | 6,400,000 | - | 1,290,800 | - | 1,205,879 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 248,700 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 6,148,700 | 61,487 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 2,600 | - | - |
| 発行済株式総数 | 6,400,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 61,487 | - |

(注)1. 「完全議決権株式(自己株式等)」欄の普通株式は、全て自己保有株式であります。

2. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数10個が含まれております。

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|----------------------|-----------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社トーアミ | 大阪府四條畷市 中野新町10番20号 | 248,700 | - | 248,700 | 3.89 |
| 計 | - | 248,700 | - | 248,700 | 3.89 |

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,344,469 | 592,450 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,910,372 | 4,733,935 |
| 商品及び製品 | 581,942 | 684,362 |
| 仕掛品 | 279,055 | 345,148 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,400,805 | 2,350,298 |
| その他 | 100,015 | 42,714 |
| 貸倒引当金 | 23,789 | 22,910 |
| 流動資産合計 | 8,592,871 | 8,726,000 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,236,305 | 1,215,620 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 454,907 | 440,333 |
| 土地 | 3,746,531 | 3,746,531 |
| 建設仮勘定 | 1,700 | 9,731 |
| その他(純額) | 12,596 | 10,871 |
| 有形固定資産合計 | 5,452,042 | 5,423,089 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 47,500 | 42,750 |
| その他 | 93,710 | 85,580 |
| 無形固定資産合計 | 141,210 | 128,330 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 371,103 | 380,660 |
| 前払年金費用 | 126,464 | 113,453 |
| その他 | 98,504 | 98,530 |
| 貸倒引当金 | 13,900 | 15,615 |
| 投資その他の資産合計 | 582,171 | 577,029 |
| 固定資産合計 | 6,175,425 | 6,128,449 |
| 資産合計 | 14,768,297 | 14,854,449 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,232,847 | 1,687,360 |
| 短期借入金 | 1,860,000 | 2,470,000 |
| 未払法人税等 | 18,178 | 5,534 |
| 繰延税金負債 | 12,148 | 1,332 |
| 賞与引当金 | 84,861 | 38,107 |
| その他 | 379,334 | 401,398 |
| 流動負債合計 | 4,587,370 | 4,603,733 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 354,629 | 352,919 |
| 退職給付引当金 | 37,434 | 37,449 |
| 役員退職慰労引当金 | 263,300 | 266,120 |
| その他 | 11,564 | 11,787 |
| 固定負債合計 | 666,928 | 668,276 |
| 負債合計 | 5,254,299 | 5,272,010 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,290,800 | 1,290,800 |
| 資本剰余金 | 1,207,310 | 1,207,310 |
| 利益剰余金 | 7,066,820 | 7,145,780 |
| 自己株式 | 112,696 | 112,696 |
| 株主資本合計 | 9,452,234 | 9,531,194 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 44,440 | 49,665 |
| 繰延ヘッジ損益 | 17,323 | 1,579 |
| その他の包括利益累計額合計 | 61,763 | 51,244 |
| 純資産合計 | 9,513,998 | 9,582,438 |
| 負債純資産合計 | 14,768,297 | 14,854,449 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 3,205,096 | 3,164,239 |
| 売上原価 | 2,717,988 | 2,623,217 |
| 売上総利益 | 487,108 | 541,021 |
| 販売費及び一般管理費 | 543,455 | 477,545 |
| 営業利益又は営業損失() | 56,346 | 63,476 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 88 | 49 |
| 受取配当金 | 2,057 | 2,667 |
| 為替差益 | 25,996 | 46,396 |
| その他 | 8,617 | 14,759 |
| 営業外収益合計 | 36,759 | 63,872 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,330 | 2,752 |
| その他 | 1,526 | 1,531 |
| 営業外費用合計 | 4,856 | 4,283 |
| 経常利益又は経常損失() | 24,443 | 123,065 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 8,272 | - |
| 特別利益合計 | 8,272 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | - | 52 |
| 環境対策費 | 9,398 | - |
| 特別損失合計 | 9,398 | 52 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失() | 25,568 | 123,012 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,561 | 3,226 |
| 法人税等調整額 | 65,477 | 5,308 |
| 法人税等合計 | 69,038 | 2,081 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失() | 94,607 | 125,094 |
| 四半期純利益又は四半期純損失() | 94,607 | 125,094 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失() | 94,607 | 125,094 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 47,324 | 5,224 |
| 繰延ヘッジ損益 | 7,475 | 15,743 |
| その他の包括利益合計 | 54,799 | 10,519 |
| 四半期包括利益 | 149,407 | 114,574 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 149,407 | 114,574 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

【追加情報】

| |
|---|
| 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
| (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。 |

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|---------|---|---|
| 減価償却費 | 98,705千円 | 62,661千円 |
| のれんの償却額 | 4,750 | 4,750 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成22年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 47,153 | 7.50 | 平成22年3月31日 | 平成22年6月30日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 46,134 | 7.50 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月30日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

当社グループは、土木建築用資材事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|----------------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額() | 15円05銭 | 20円34銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円) | 94,607 | 125,094 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円) | 94,607 | 125,094 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 6,287,098 | 6,151,219 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第1四半期連結累計期間については1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため、当第1四半期連結累計期間については潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月8日

株式会社トーアミ
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 辻内 章 印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 松嶋 康介 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社トーアミの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社トーアミ及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。